



# Big data, Big innovation

次のイノベーションは、ビッグデータから

## 2013年6月期 第2四半期 決算補足説明資料

2013年2月1日

株式会社ブレインパッド

本資料に記載されている戦略や計画、見通しなどは、過去の事実を除いて予測であり、現時点において入手可能な情報に依拠し判断された一定の前提条件に基づいております。したがって、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これら見通しとは乖離する場合があることをご承知おきください。またグラフ内の数値は端数処理により総和が短信等で開示している合計額と一致しない場合があります。なお、2011年6月期 2Q以前の数値は未監査でありますため、当該期の数値は参考資料となります。

本資料における情報は、本資料が作成された時点のものです。将来発生する事象などにより内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。また、本資料に記載された会社名・商品名・ロゴは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

# 会社のプロフィール

【商号】 株式会社ブレインパッド(英文 BrainPad Inc.)  
(東証マザーズ 証券コード:3655)

【住所】 東京都品川区東五反田5-2-5 KN五反田ビル

【設立】 2004年3月18日(決算日6月30日)

【資本金】 326,678,824円(2012年12月31日現在)

【社員数】 119名(2012年12月31日現在)

【代表者】 草野 隆史

【事業】 アナリティクス事業(AS事業)  
ソリューション事業(SOL事業)  
ASP関連事業(ASP事業)



# INDEX

- 第10期上期の経営活動サマリ
- 業績ハイライト
- セグメント別業績
  - － アナリティクス事業（AS事業）
  - － ソリューション事業（SOL事業）
  - － ASP関連事業（ASP関連事業）
- Appendix

# 上期の経営活動サマリ（1）

今期を今後5年の成長を見据えた「投資の1年」と位置づけ、土台作りを中心とした各種施策に取り組みました。

## ●分析官の戦略的異動

商品開発および分析官の人材教育・育成に注力するため、主力のアナリティクス事業で育成した分析官の約10%を他部署に異動

## ●ビッグデータ分析の需要拡大に対応するためのインフラ投資

### ・分析環境のiDCへの移行

→ 顧客とのデータ授受のシームレス化、高速化

→ 社内の分析環境の改善と効率化、セキュリティレベルの引き上げ

### ・「Cloudstock」（大量データ蓄積・分析PaaS）のサービス拡張

→ クラウド上にBI・BAツールを搭載した新たなサービスの開発

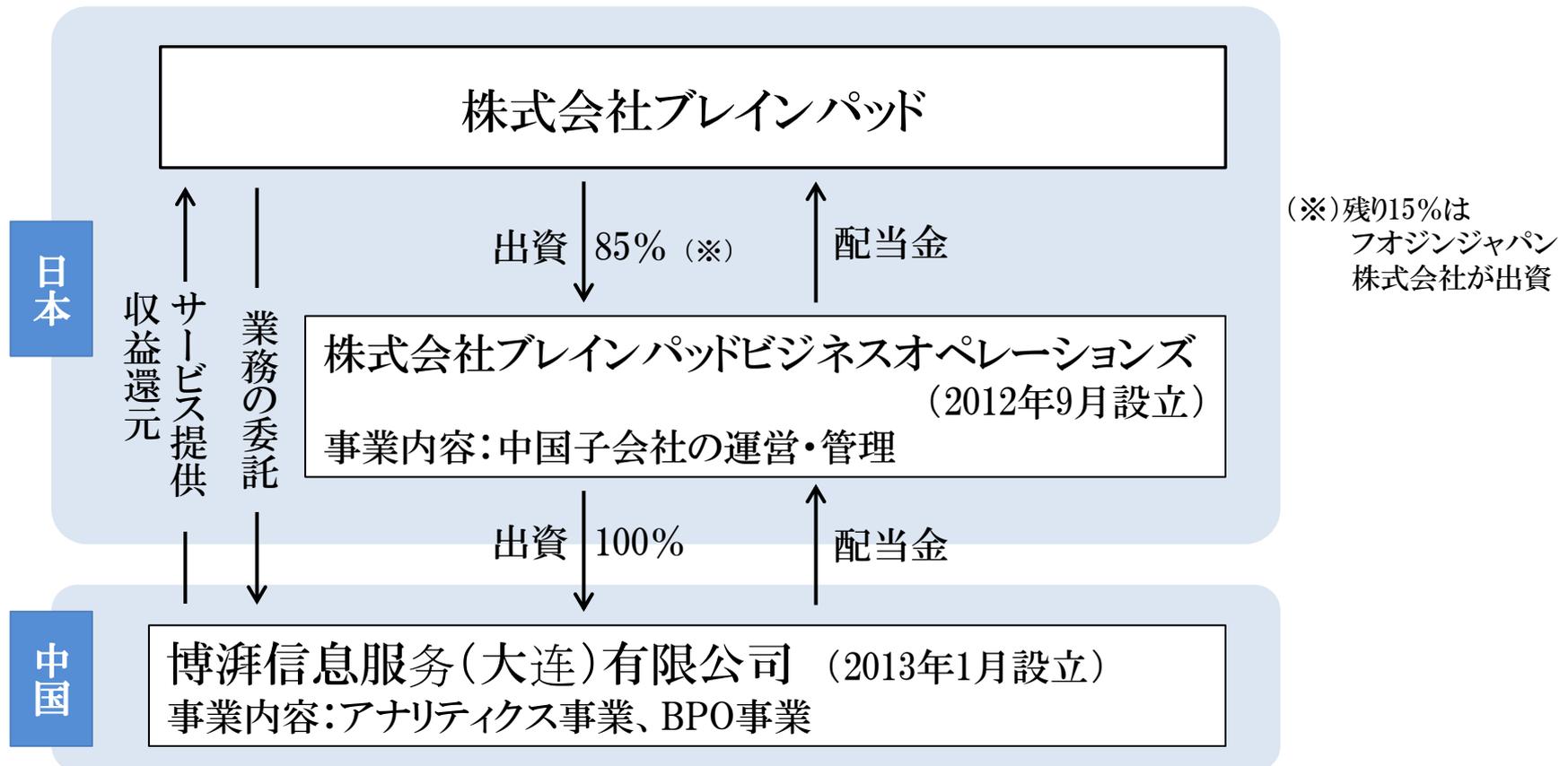
→ 分析サービスのパッケージ化、複数業種への対応

## ●分析案件の多様化（高度化とコモディティ化）に対応するための分析官の継続的な採用・育成の実現に向けた施策の立ち上げ

# 上期の経営活動サマリ (2)

## ・ 海外子会社(オフショアセンター)の設立

本日付、「連結子会社による中国現地法人の設立に関するお知らせ」を開示



# 上期の経営活動サマリ (3)

## 主なプレスリリース

### ●KXEN と国内唯一の販売代理店契約を締結 (2012.11.27)

- －KXENの販売・導入サポート体制の一層の強化を図るとともに、当社のクラウドサービスと連携した独自のマーケティング・ソリューションの開発を目指す

### ●BI/BA領域において、

#### ウイングアーク株式会社(1stホールディングスグループ)と協業 (2012.11.21)

- －Herokuおよびセールスフォース・ドットコム(CRM/SFA)データと連動するマーケティング・ソリューションの共同開発に取り組む
- －販売代理店契約を締結し、ウイングアーク(株)が取り扱うBI製品を販売を開始

### ●テレマティクス分野において、株式会社テクトムと業務・資本提携 (2012.12.14)

- －専用のテレマティクスデバイスから収集した様々な車両情報を蓄積・分析し、交通事故の削減やエコドライブの推進、車両管理の適正化などをサポートする独自のテレマティクスサービスを共同開発、提供を目指す

# 上期の経営活動サマリ（4）

主なプレスリリース(続き)

●「Rtoaster」に広告配信機能を追加した、

「Rtoaster Ads(アールトースターアズ)」を販売開始 (2013.1.17)

ー Webサイト上のユーザー一人ひとりの趣味や嗜好や、顧客の属性情報を元に  
きめ細やかな広告配信を実現するターゲティング型広告配信プラットフォーム

●国内初、スマートフォン向け無料OCR家計簿アプリケーション

「ReceReco(レシレコ)」を提供開始 (2013.1.31)

ー 当社初の一般消費者向けアプリケーション

ー スマートフォンのカメラで撮影したレシート情報を自動的にデータ化し、  
グラフ化や、記録、Facebookでの共有が可能



# 上期業績ハイライト

(2012年7月～2012年12月)

## 全体業績

・ 売上高	：	893百万円	前年同期比+1.6%
・ 営業利益	：	68百万円	前年同期比△39.9%
・ 経常利益	：	55百万円	前年同期比△40.6%
・ 四半期純利益	：	31百万円	前年同期比△39.6%

## アナリティクス事業

・ 売上高	：	314百万円	前年同期比△12.9%
-------	---	--------	-------------

## ソリューション事業

・ 売上高	：	284百万円	前年同期比+5.5%
-------	---	--------	------------

## ASP関連事業

・ 売上高	：	293百万円	前年同期比+18.4%
-------	---	--------	-------------

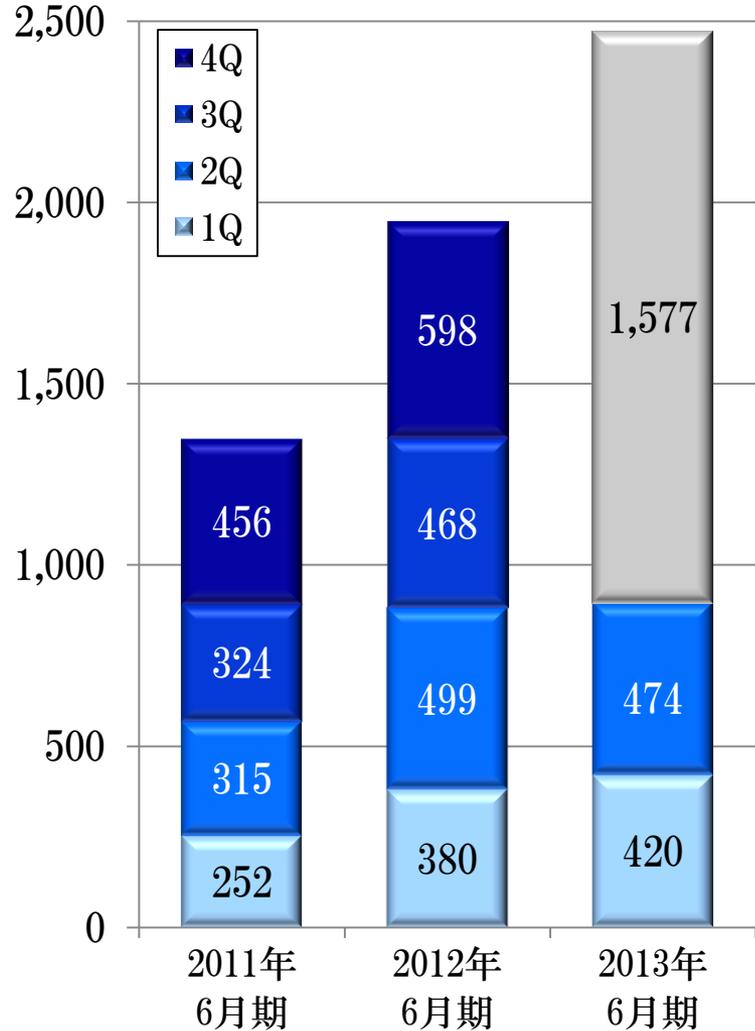
※当社は、当期の第1四半期より連結決算を行っております。  
上記の前年同期比は、前年同期の単体業績との比較です。

## ● 上期業績予想との乖離要因（売上高の乖離要因）

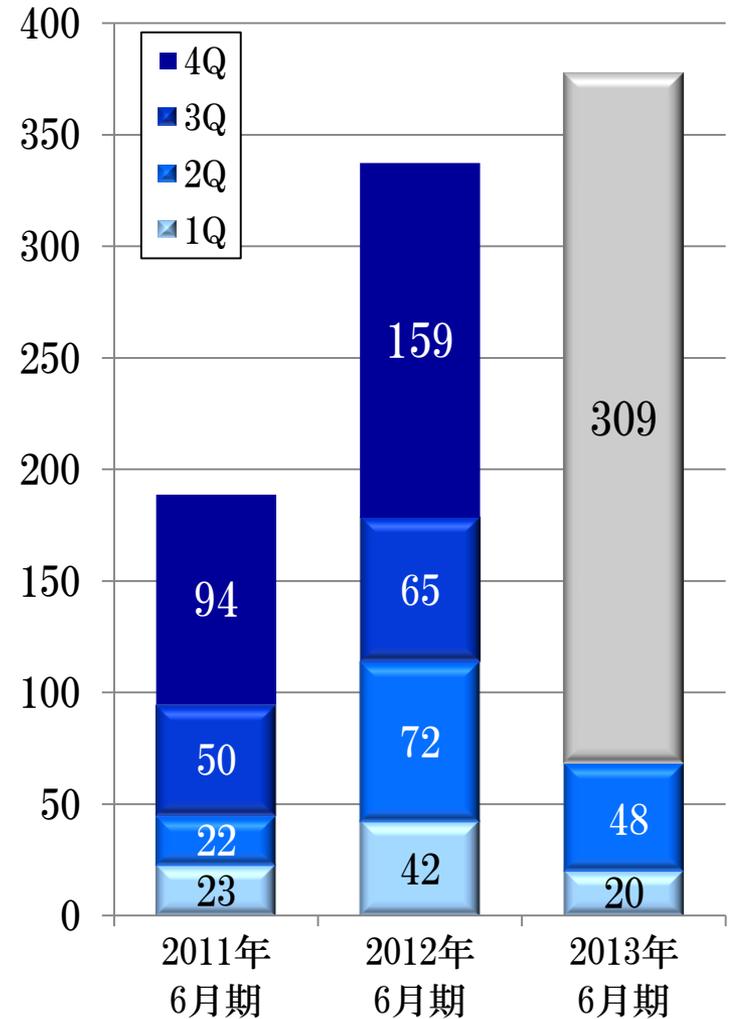
- － SOL事業における案件の受注時期の第3四半期以降へのずれ込み
- － AS事業の戦略的な人員異動による稼働人員減少

# 上期業績ハイライト

売上高推移 (単位:百万円)



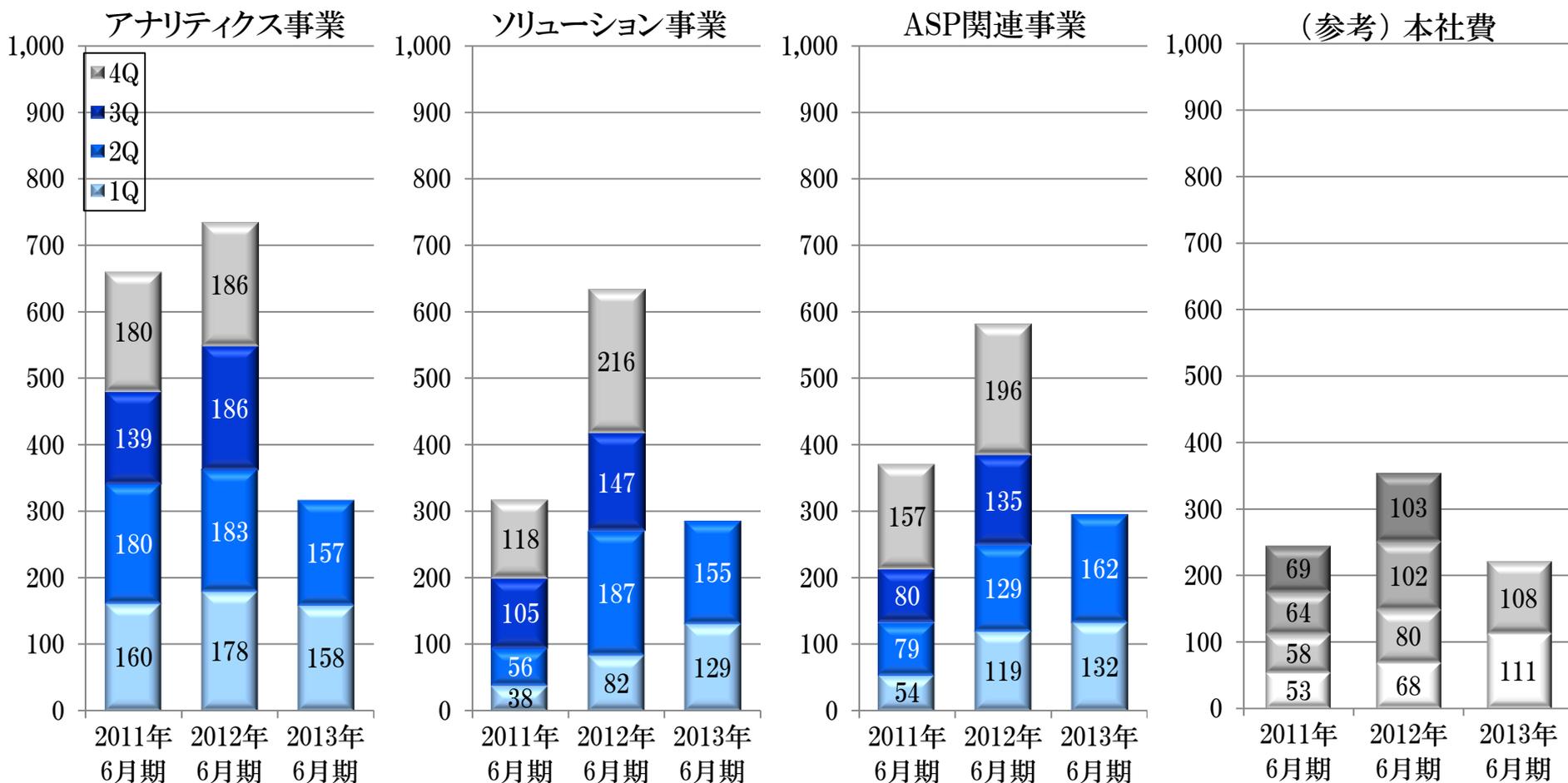
営業利益推移 (単位:百万円)



# 上期 セグメント別業績ハイライト

アナリティクス事業の売上減を、ソリューション事業とASP関連事業のストック型ビジネスが牽引し、全体では、前年並みの売上高となりました。

(単位:百万円)



# Appendix

- P/Lの概要
- B/Sの概要
- セグメント別業績ハイライト
- (参考)セグメント利益の推移
- (参考)セグメント別売上高・利益
- (参考)セグメント別平均顧客単価・顧客数推移
- (参考)取引社数の推移

# 第10期2Q P/Lの概要

(単位:百万円)

	(A) 前事業年度 2012年6月期 第2四半期 累計期間	(B) 当事業年度 2013年6月期 第2四半期 連結累計期間	(C=B-A) 増減額	(C/A) 増減率	増減理由
売上高	878	893	14	1.6%	
売上原価	492	478	-13	-2.8%	業務委託費(外注費)の減少 ほか
売上総利益	386	414	27	7.2%	
販売費及び 一般管理費	272	345	73	26.9%	本社人件費の増加 ほか
営業利益	113	68	-45	-39.9%	
経常利益	93	55	-37	-40.6%	
税引前 当期純利益	93	55	-37	-40.6%	
当期純利益	52	31	-20	-39.6%	

# 第10期2Q B/Sの概要(資産の部)

(単位:百万円)

	(A) 前事業年度 2012年6月期 期末	(B) 当事業年度 2013年6月期 第2四半期末	(C=B-A) 増減額	(C/A) 増減率	増減理由
資産の部					
流動資産					
現金及び預金	526	526	0	0.0%	
受取手形及び売掛金	404	268	-136	-33.7%	前期末(6月度)の売上が大きかったため
その他	83	82	0	-1.0%	
流動資産合計	1,014	877	-137	-13.5%	
固定資産					
有形固定資産	73	84	10	13.7%	
無形固定資産	204	235	31	15.2%	自社制作ソフトの構築完了による増加 ほか
投資その他の資産	38	57	19	50.5%	(株)テクトムへの出資による増加 ほか
固定資産合計	316	377	60	19.2%	
資産合計	1,331	1,255	-76	-5.7%	

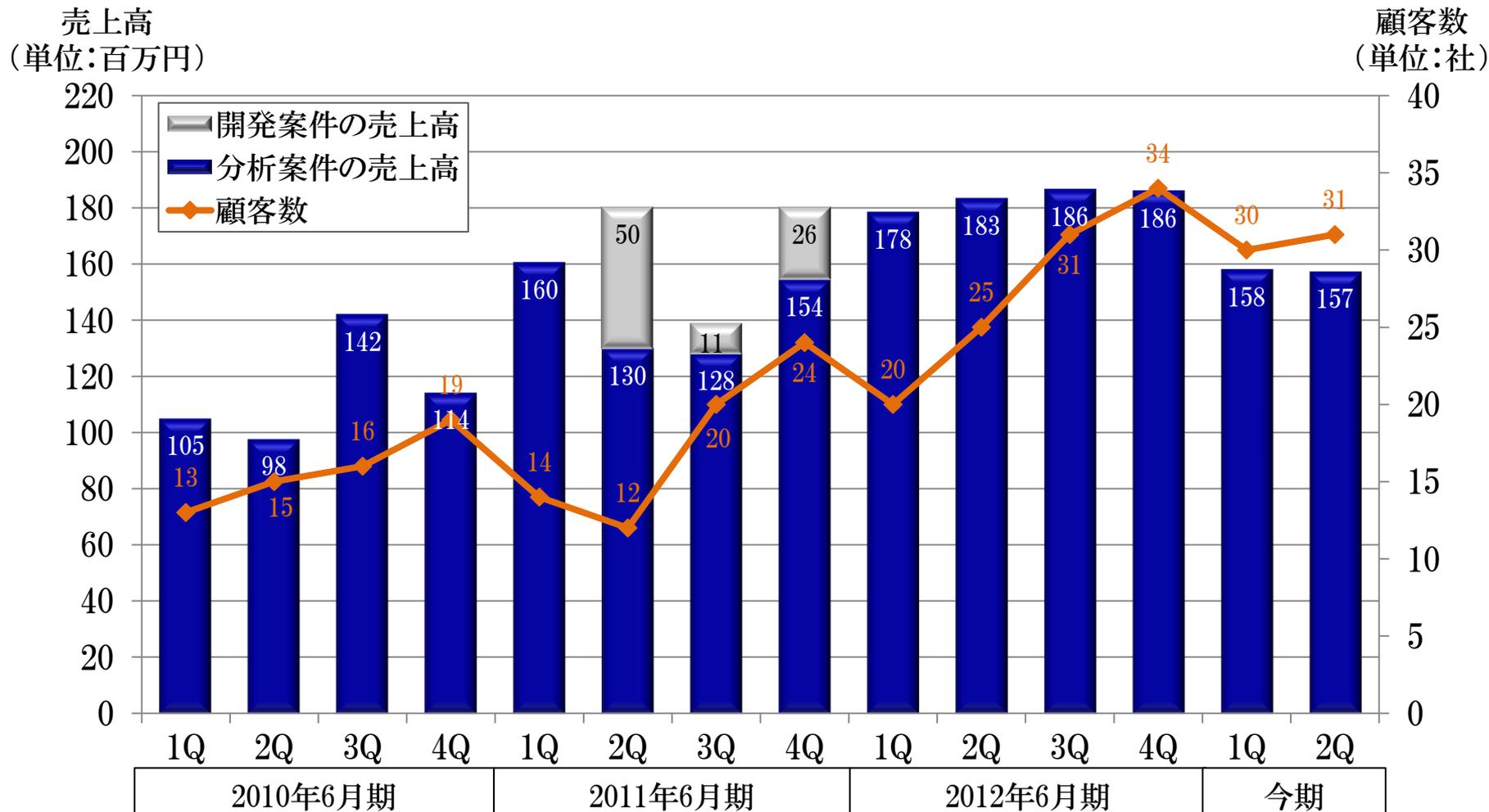
# 第10期2Q B/Sの概要(負債・純資産の部)

(単位:百万円)

	(A) 前事業年度 2012年6月期 期末	(B) 当事業年度 2013年6月期 第2四半期末	(C=B-A) 増減額	(C/A) 増減率	増減理由
負債の部					
流動負債					
買掛金	27	27	0	-13.2%	
1年内返済長期借入金	18	9	-8		借入金の返済による減少
未払金	12	25	13	107.3%	
未払費用	86	69	-17	-20.3%	
前受収益	39	40	0	1.6%	
未払法人税等	104	22	-81		2012年6月期の法人税納付のため
その他	34	21	-12	-37.1%	
流動負債合計	323	217	-105	-32.8%	
固定負債					
長期借入金	20	15	-4	-24.0%	借入金の返済による減少
その他	5	5	0	0.3%	
固定負債合計	25	20	-4	-19.2%	
負債合計	349	238	-110	-31.7%	
純資産の部					
株主資本					
資本金	326	326	0	0.2%	
資本剰余金	302	303	0	0.2%	
利益剰余金	353	385	31	9.0%	
自己株式	-	0	0	-	
株主資本合計	982	1,015	32	3.3%	
少数株主持分	-	1	1		連結子会社(BBO)の少数株主持分
純資産合計	982	1,016	34	3.5%	
負債純資産合計	1,331	1,255	-76	-5.7%	

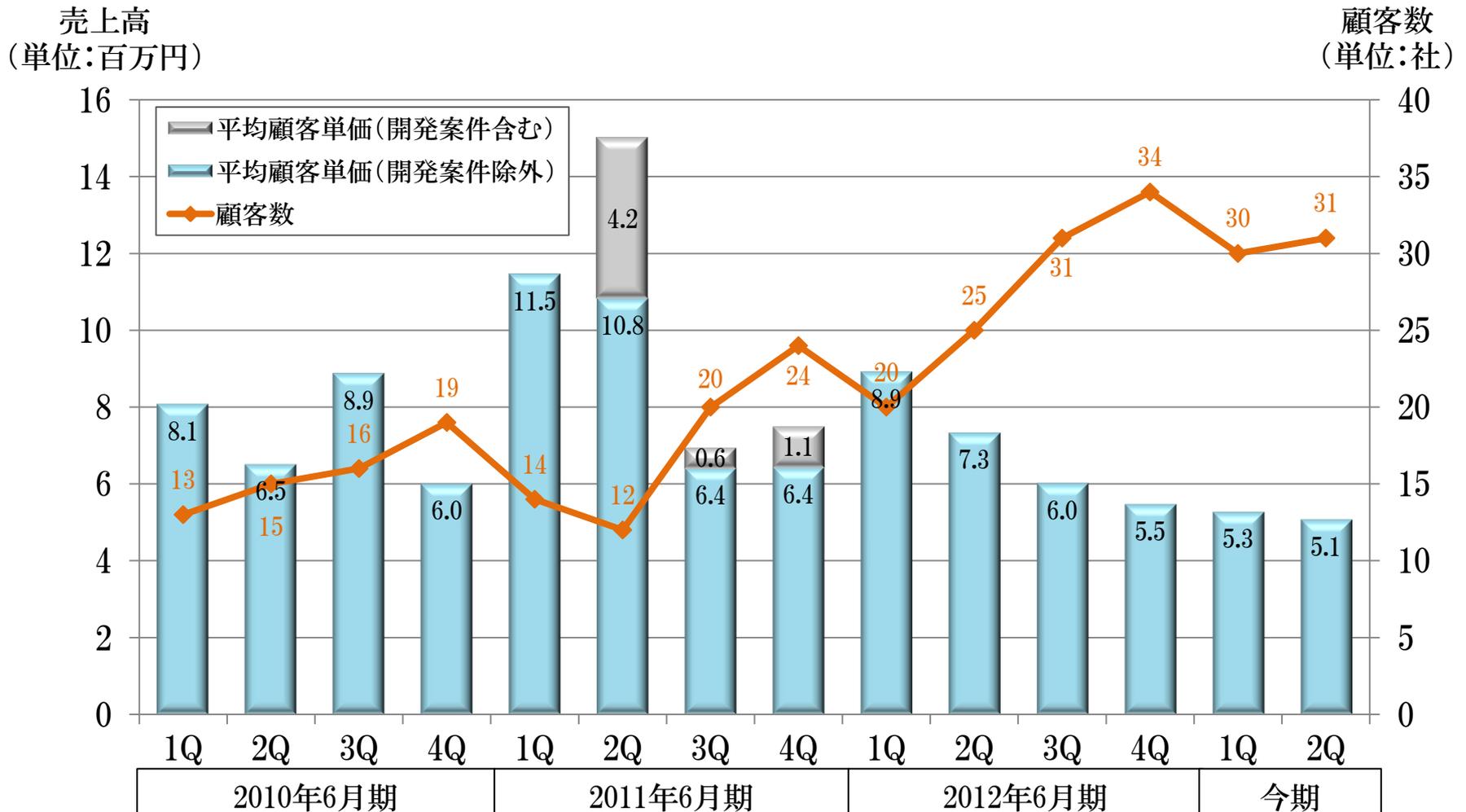
# AS事業 売上—顧客数推移

分析官の戦略的な人員異動により稼働人員が減少したことに加え、獲得を見込んでいた一部の案件において第3四半期以降への期ずれが発生しました。



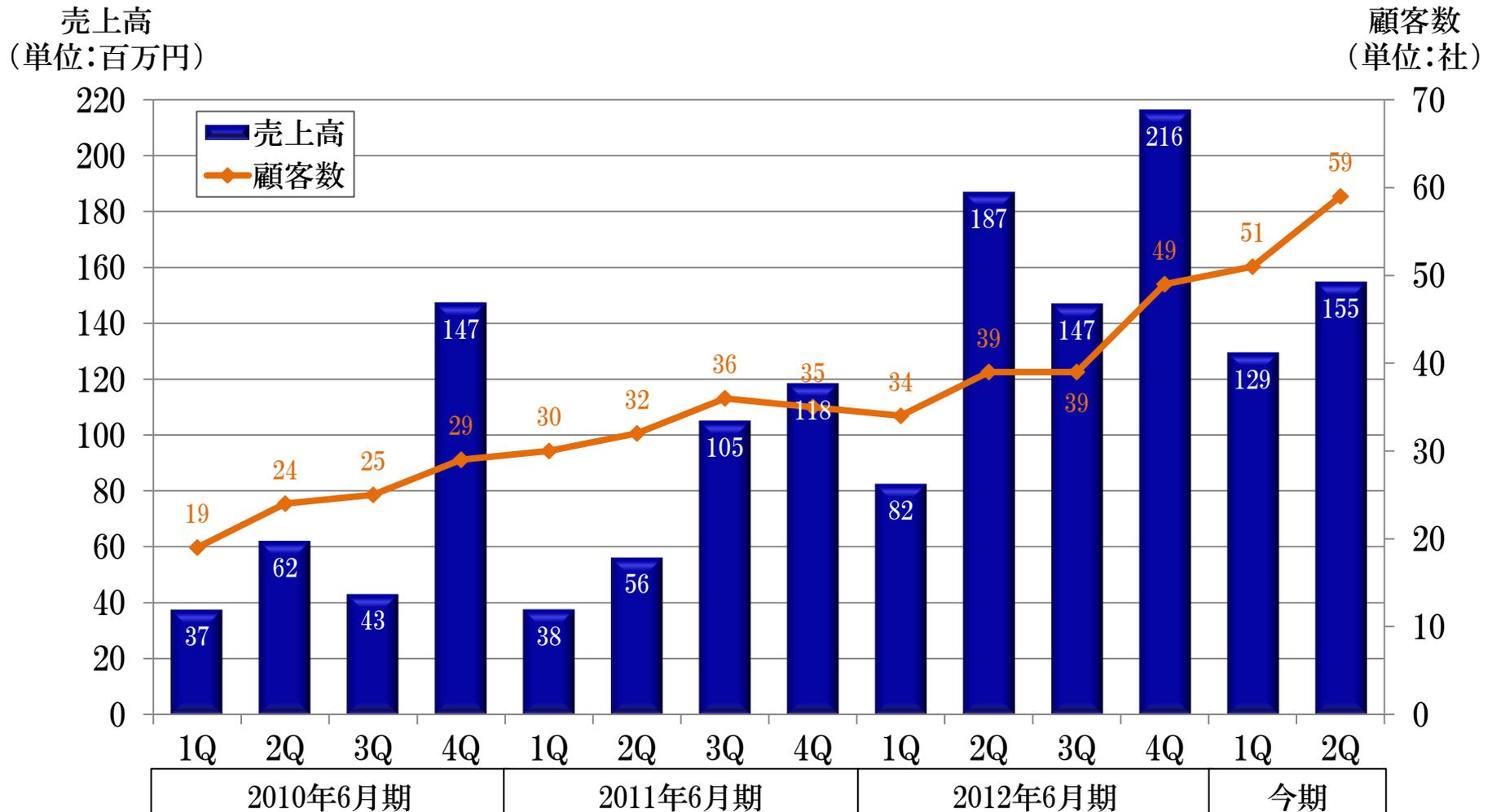
# AS事業 顧客数－顧客単価推移

人員異動を行った分析官を中心に、商品開発やインフラ投資を進める一方、大手顧客への営業戦略に基づく、案件の継続・大型化を推進しております。



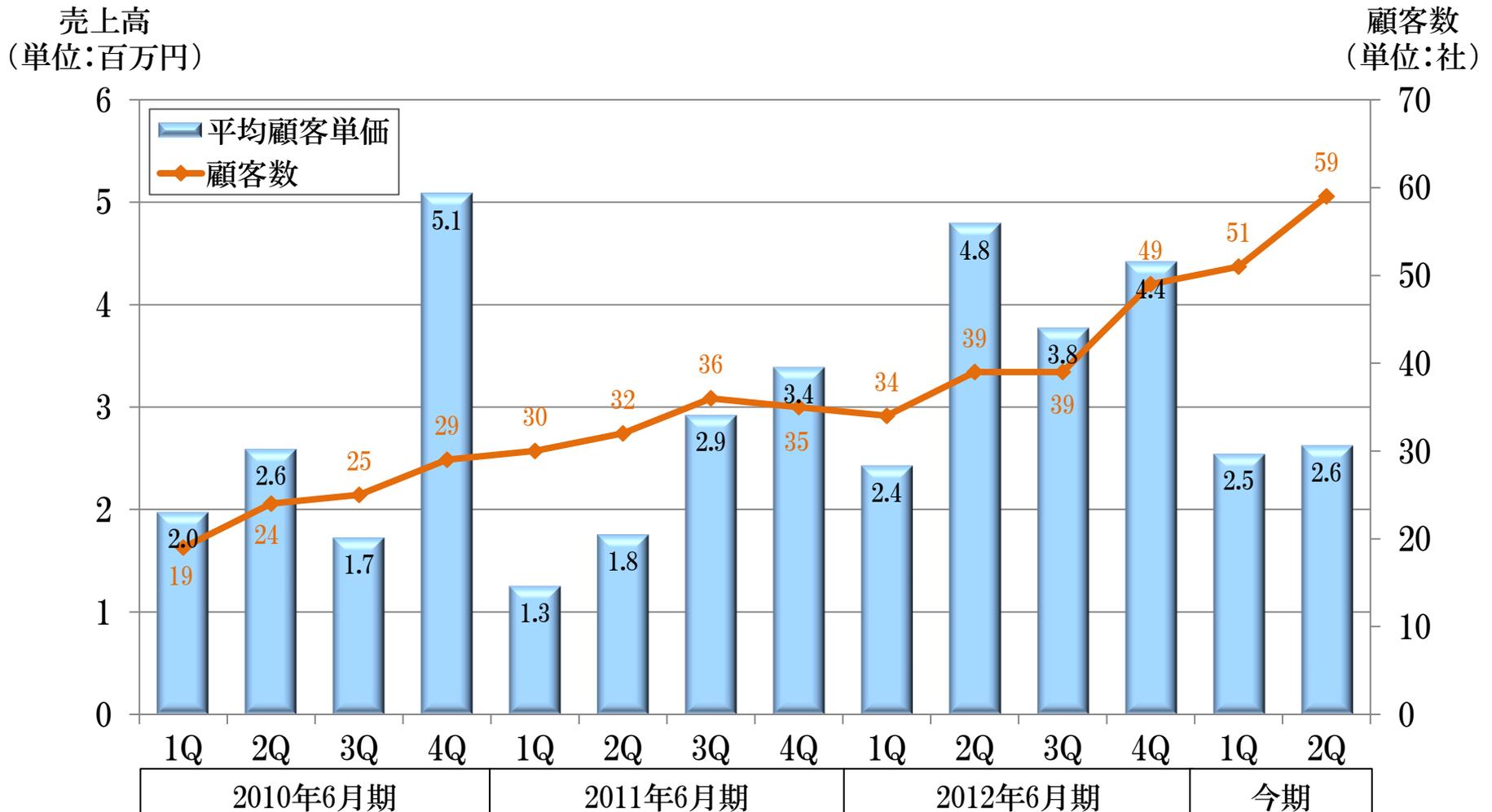
# SOL事業 売上一顧客数推移

新たなソフトウェアの商材の拡充とsmartFOCUSの販売再開、  
ならびに受託開発案件の増加により、売上高・顧客数ともに増加しました。



# SOL事業 顧客数－顧客単価推移

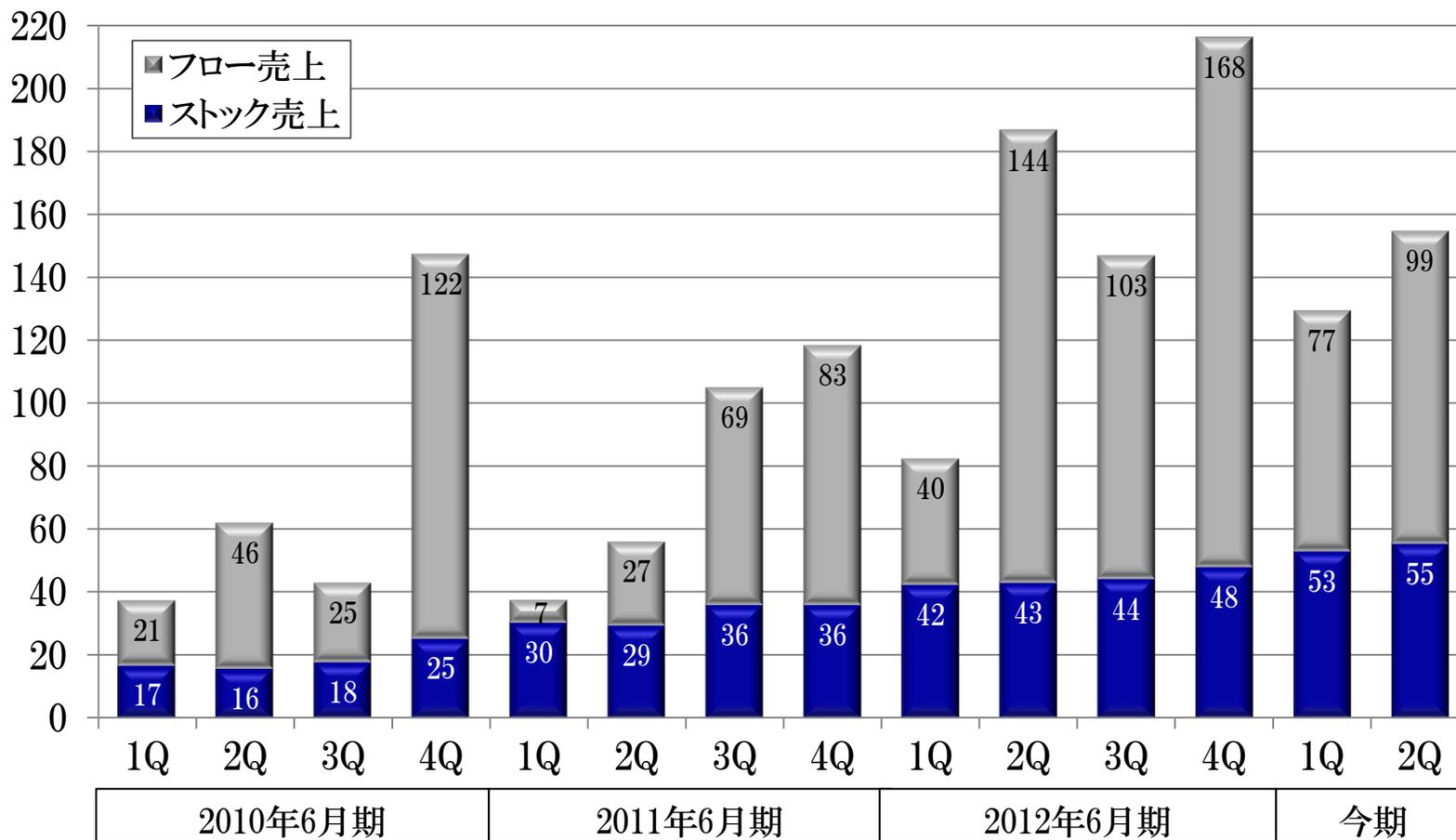
BI・BAツールの需要拡大を背景に、金融大手、IT大手などに向けたライセンス販売による顧客単価向上に着手しております。



# SOL事業 売上構造

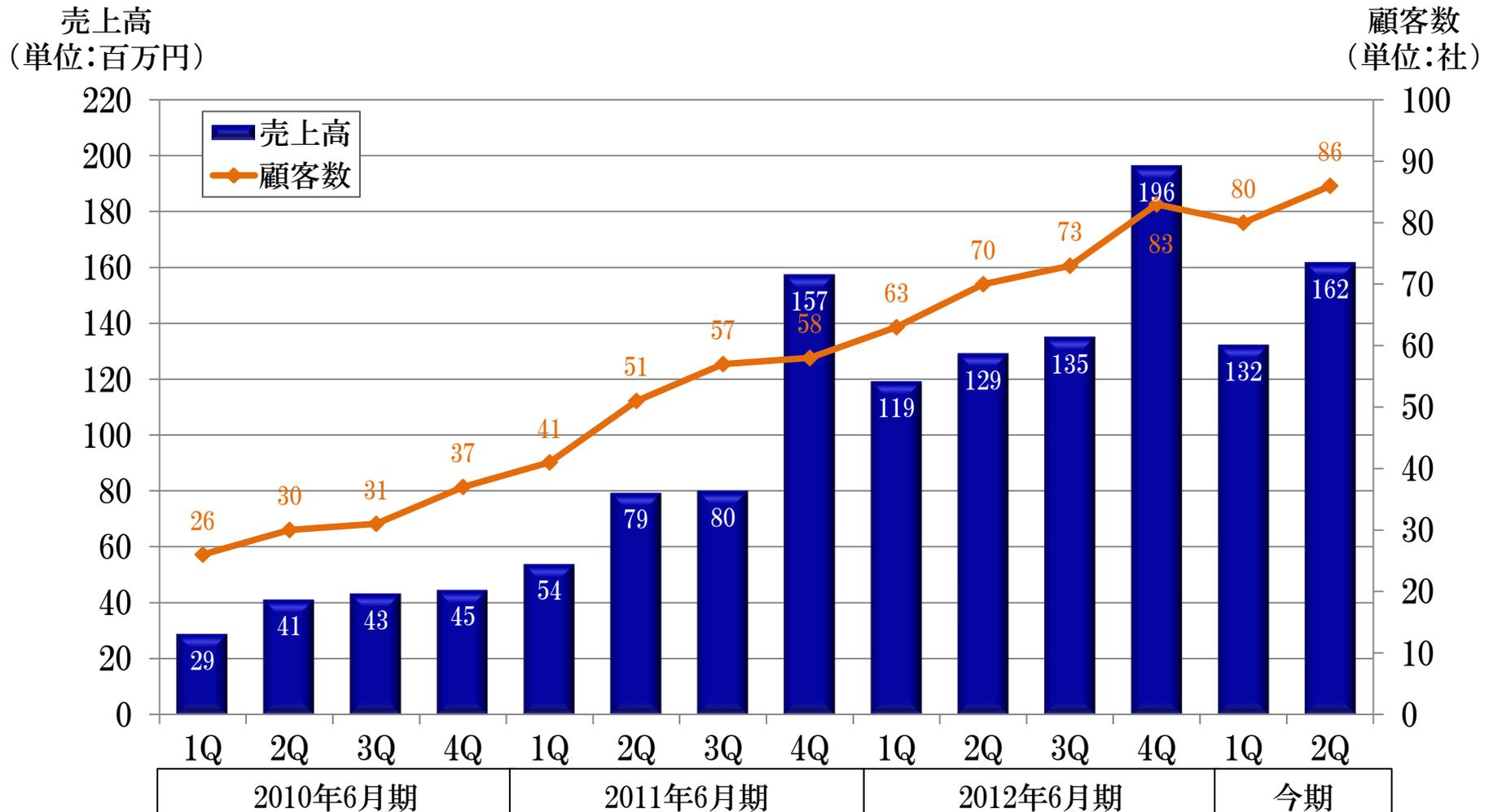
新たなソフトウェアの商材の拡充とsmartFOCUSの販売再開に伴う顧客数の増加により、ストックビジネスの売上が増加しました。

売上高  
(単位:百万円)



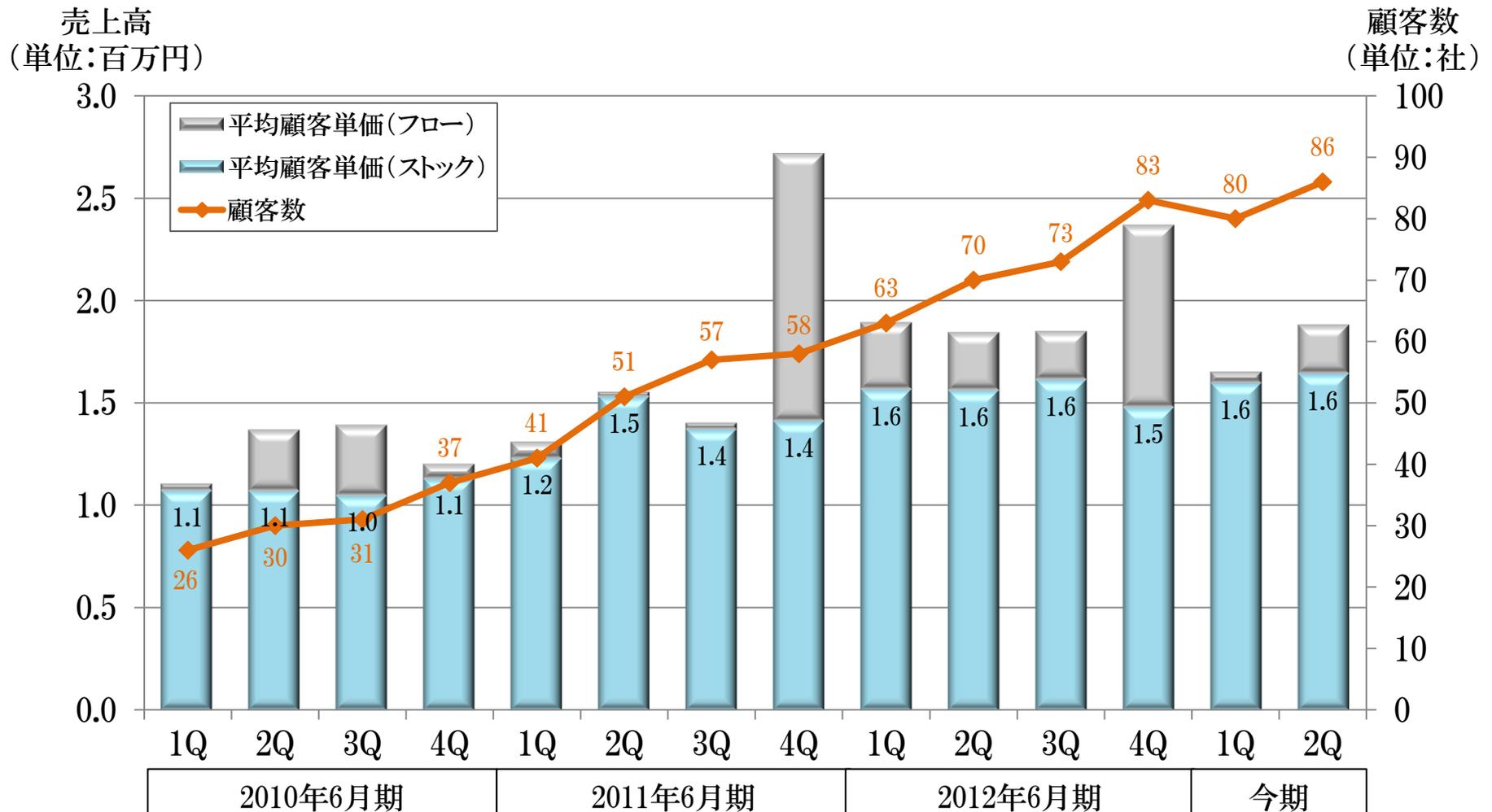
# ASP事業 売上一顧客数推移

主力の「Rtoaster」「L2Mixer」の機能追加と、新規顧客開拓を推進し、ストックビジネスの伸長による安定的な収益確保に取り組みました。



# ASP事業 顧客数－顧客単価推移

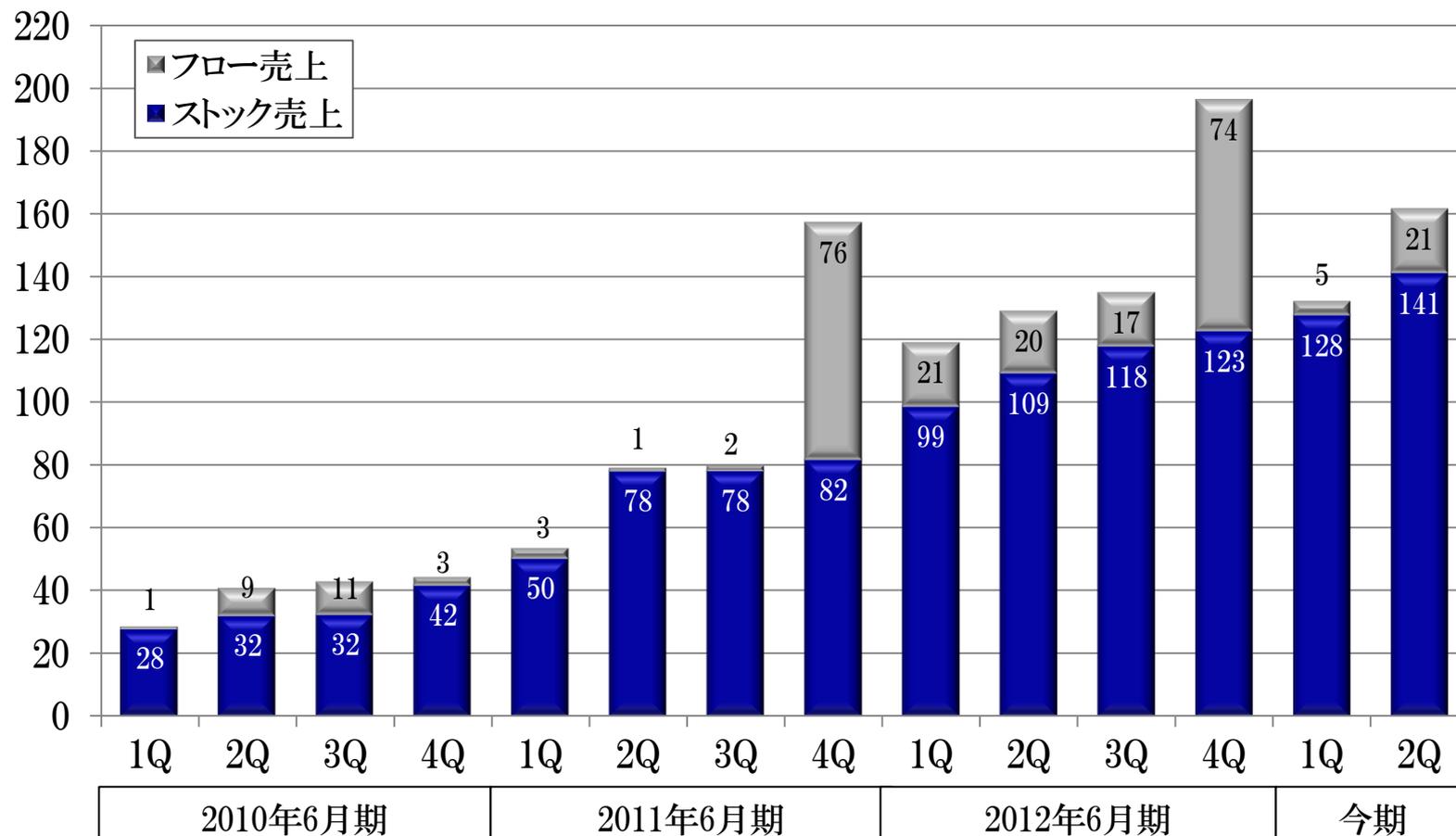
「Rtoaster」について、新たにインターネット事業者向けの大型案件を獲得するなど、顧客単価向上に取り組んでおります。



# ASP事業 売上構造

安定収益源となるストックビジネスが堅調に増加するとともに、新規取引開始による初期設定費用等のフロー売上も増加しました。

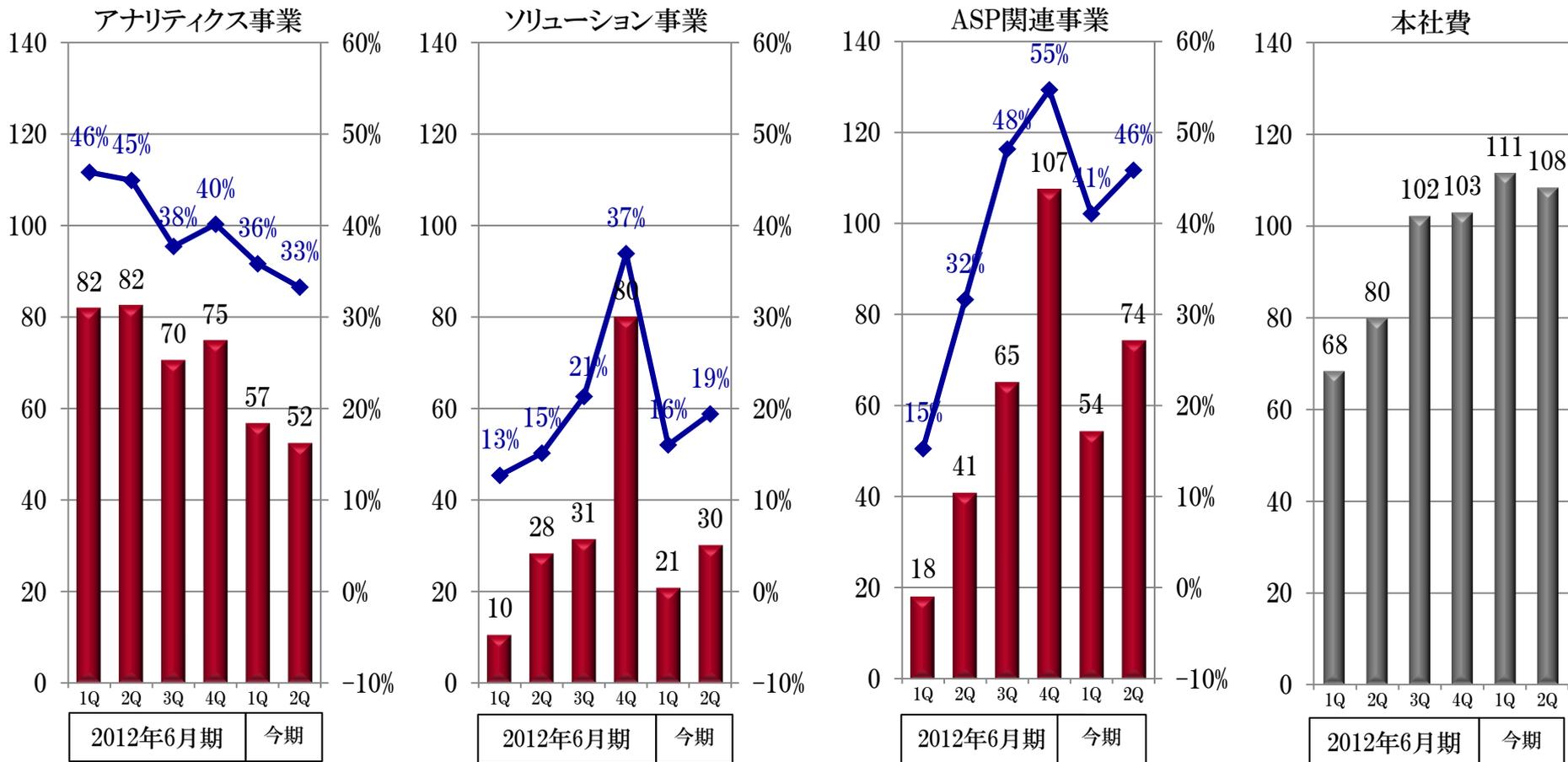
売上高  
(単位:百万円)



# (参考)セグメント利益の推移

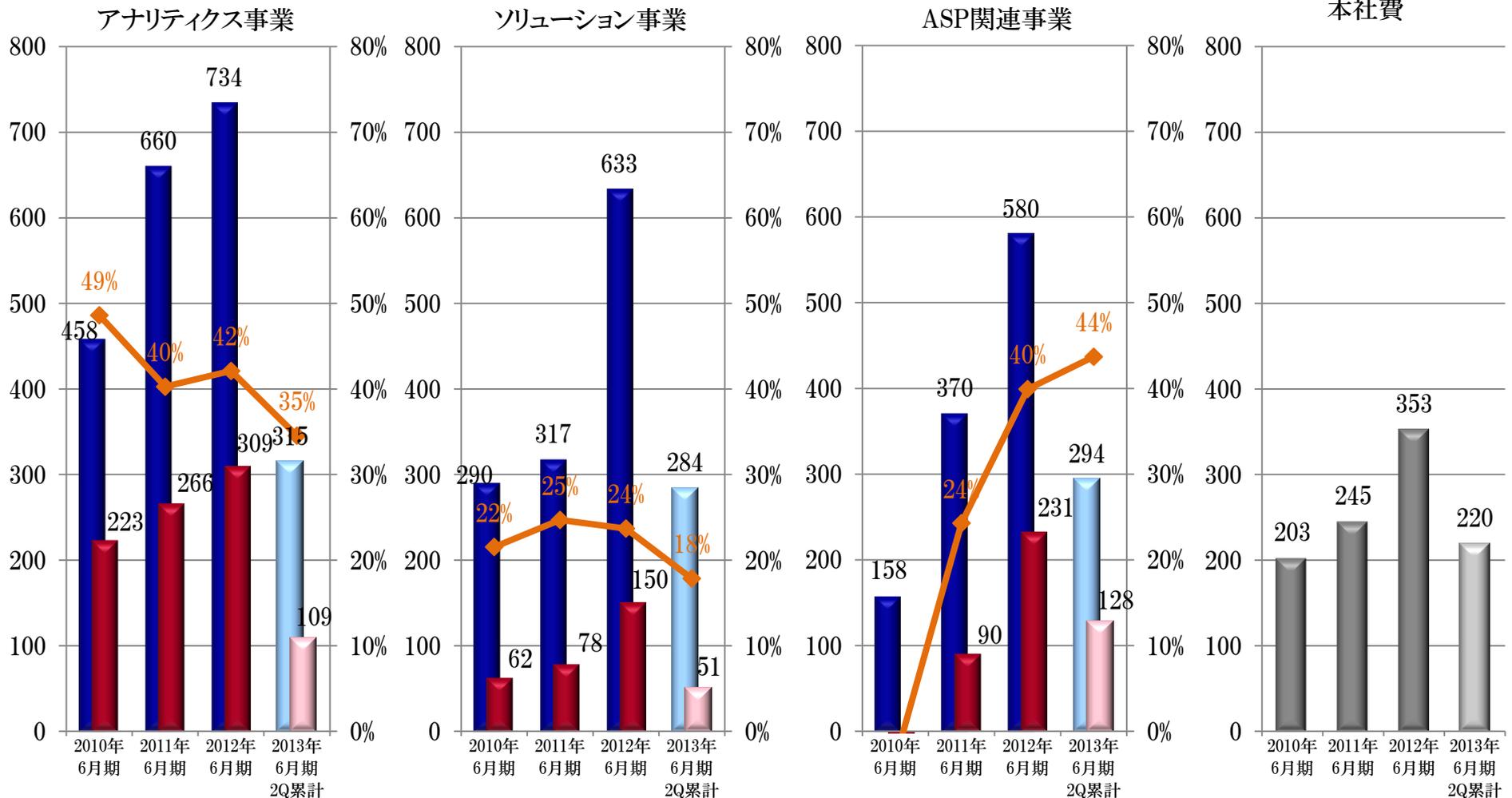
前期3Qの全社の組織変更および今期1Qの各セグメント内の企画系部署新設の結果、利益率が変化し、過去との単純比較が困難なため、参考情報といたします。

左軸/四半期セグメント利益(単位:百万円)、右軸/セグメント利益率



# (参考)セグメント別売上高・利益

左軸/売上高およびセグメント利益(単位:百万円)、右軸/セグメント利益率



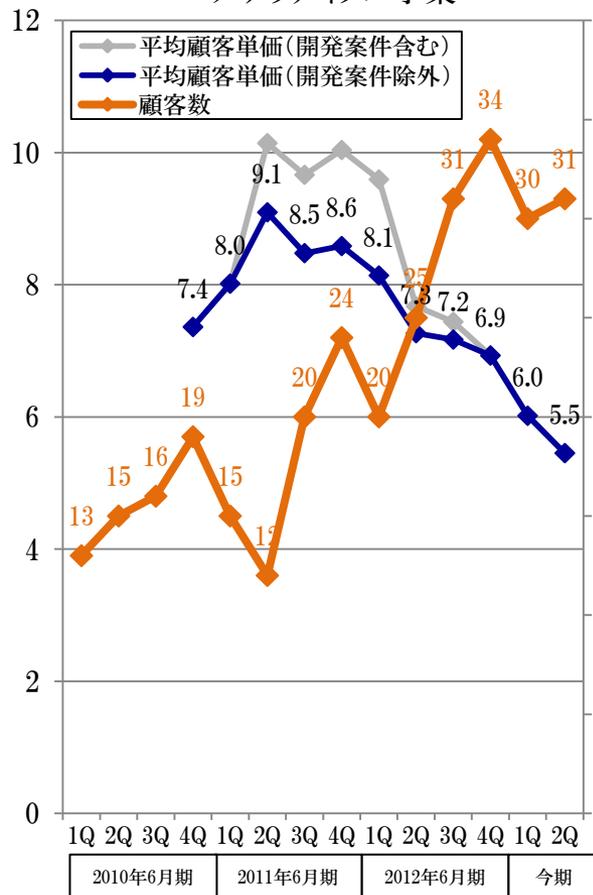
※2013年6月期は、2四半期末時点の累計実績です。

# (参考)セグメント別平均顧客単価・顧客数推移

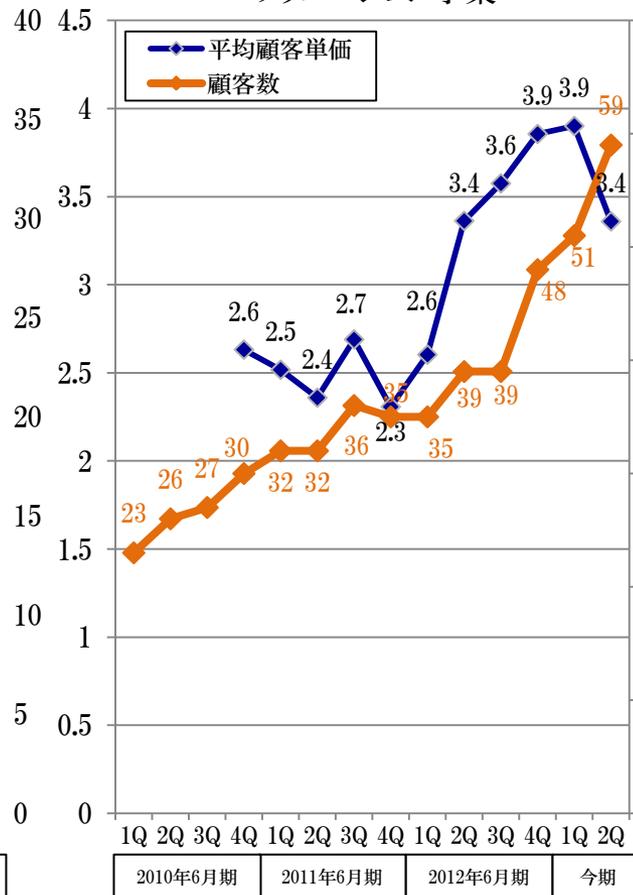
(四半期移動平均)

左軸/平均顧客単価(四半期移動平均、単位:百万円)、右軸/顧客数(単位:社)

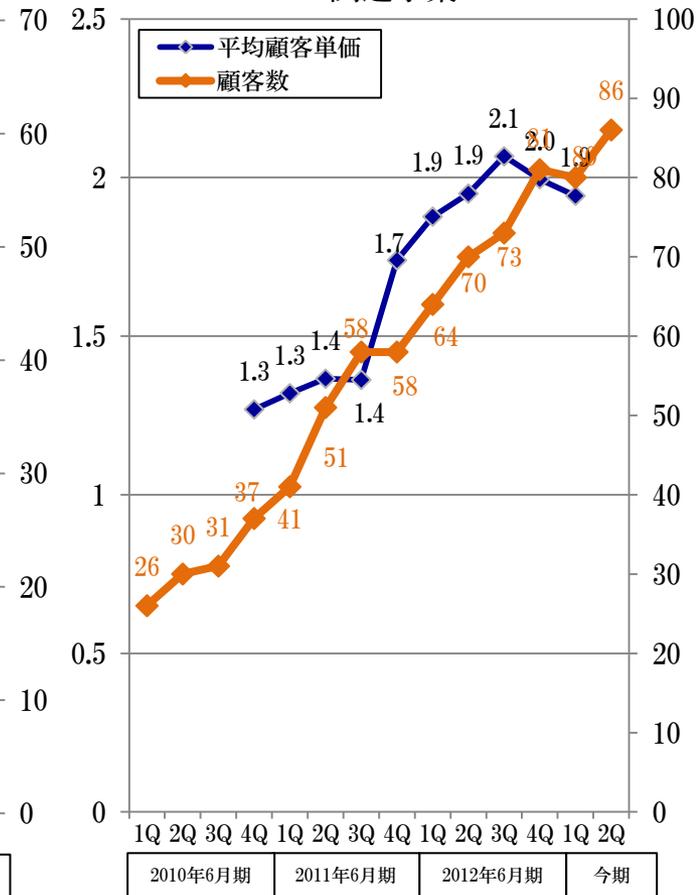
### アナリティクス事業



### ソリューション事業

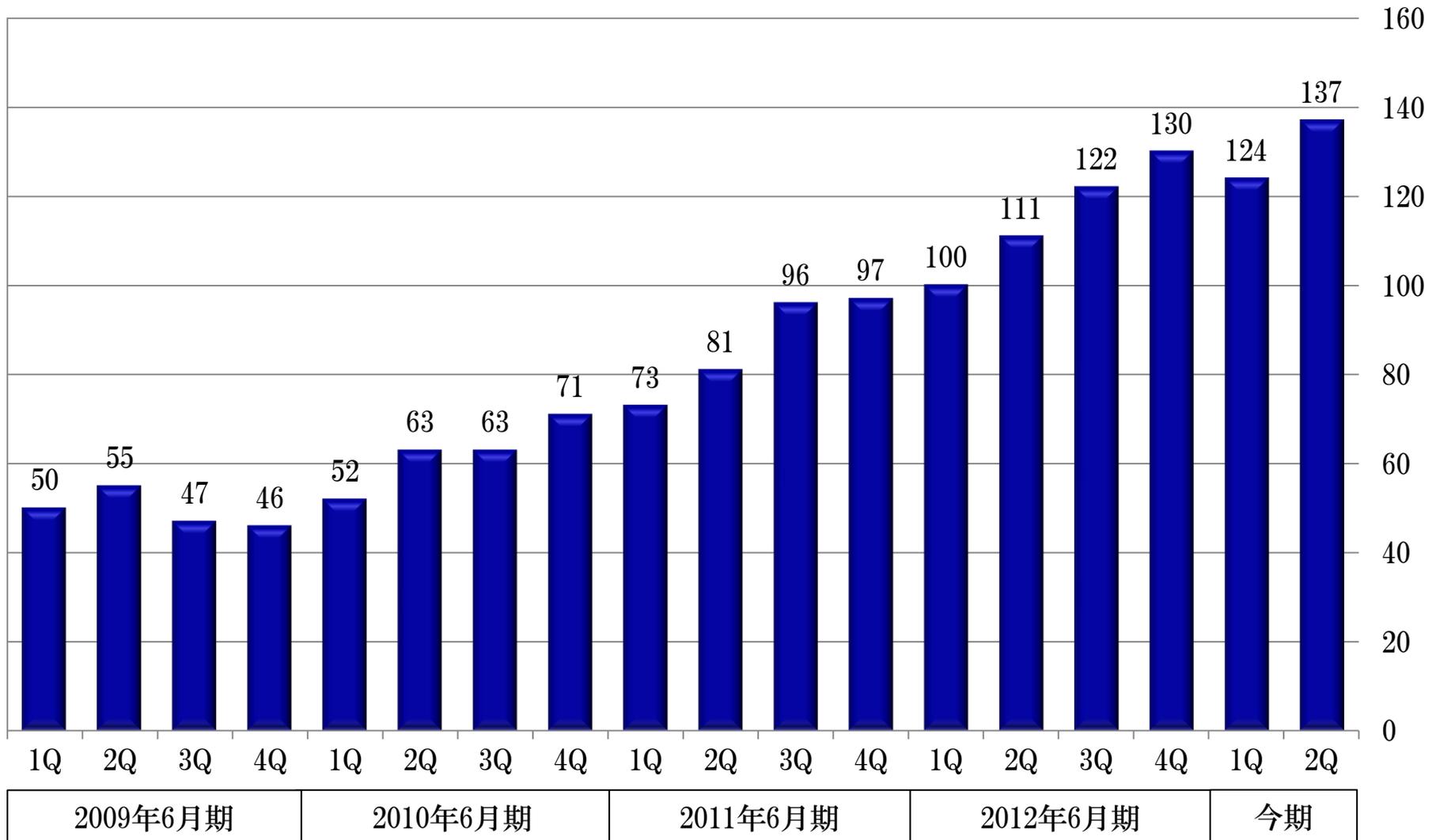


### ASP関連事業



# (参考)取引社数の推移

顧客数  
(単位:社)





# Big data, Big innovation

次のイノベーションは、ビッグデータから

本資料に記載されている戦略や計画、見通などは、過去の事実を除いて予測であり、現時点において入手可能な情報に依拠し判断された一定の前提条件に基づいております。したがって、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これら見通とは乖離する場合があることをご承知おきください。またグラフ内の数値は端数処理により総和が短信等で開示している合計額と一致しない場合があります。なお、2011年6月期 2Q以前の数値は未監査でありますため、当該期の数値は参考資料となります。

本資料における情報は、本資料が作成された時点のもので、将来発生する事象などにより内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。また、本資料に記載された会社名・商品名・ロゴは、それぞれ各社の商標または登録商標です。